

技術士だより

—(社)日本技術士会九州支部・九州地方技術士センター夏季号<第28号>(平成8年6月15日発行)

◇巻頭言

第24回技術士全国大会(平成9年度、於福岡市)を成功させよう

水上 信昭(九州支部長・センター会長)

平成8年度定時総会(第31回、平成8年5月24日)で、本年度の事業計画が決まりました。特に本年度としては、

- 1) 政策特別委員会(帆足建八委員長)を発足する。
- 2) 支部長の選挙規定を定める。(支部長は総会において選挙する。平成9年度より)
- 3) 第24回技術士全国大会、準備実行委員会を発足させる。

以上の3項目が新規課題である。

(社)日本技術士会九州支部、九州地方技術士センターの常設委員会は、平成2年5月より、支部は、総務、試験管理、事業、センターは、能力育成、研修、活性化の各々3委員会があり重要事項の執行をして来ました。今回の「政策委員会」は、特別委員会(3ヶ年間)として、組織拡大(会員増強)、財政基盤強化、業務拡大、等の具体的政策を立案するもので、8地区代表幹事、各部会長、常設委(2名)のメンバーで構成し、期間も3ヶ年としている。今後の活躍を期待したい。

平成8年3月現在、支部、センターの会員数は、各々318名、723名で、支部長の選出は会員の選挙により、総会で決定する事とした。会員多数の立候補をお願いしたい。

(社)日本技術士会の「技術士全国大会」は、第1回、昭和49年(中部支部担当)に始まり、本年度は、第23回で、10月15日、横浜市で開催される。技術士会創立45周年に当る。会員多数の参加をお願いする。大会の運営は、本部と7支部の輪番制で、九州支部としては、第5回(昭和53年7月、福岡市)、第15回(昭和63年10月、別府市)を実施した。平成9年度は、第24回全国大会で、九州支部担当となっている。

「技術士だより」第17号(平成5年3月15日発行)に、支部の会員数と、全国大会実施との関連について、論じている。会員数の動向では、発足当初(昭和40年)25名で、昭和54年、107名、昭和63年、160名と、10年毎に倍増している。即ち、イベントの実施が、会員数の飛躍的増加となっている。

現在は、「地方の時代」と言われ、各地で「村おこし」、「町おこし」として、伝統的行事のイベントが盛んである。福岡市でも、5月の「ドンタク、港まつり」は、集客数日本一だと言われている。一つの行事を多くの人々が、心を一つに行うことが、活性化につながるのだろう。

総会で決定した、「第24回技術士全国大会、準備実行委員会」の組織は、大会委員長、同実行委員長のもとに、総務、分科会、記念誌、研修・見学会、財務の5委員会とし、委員長幹事等の詳細は本「技術士だより」8頁に掲載している。同委員会の方々の御協力と、会員の皆様の御理解、御協力を切にお願いすると共に、次の努力目標を提案致します。

- 1) 第24回技術士全国大会を成功させよう
- 2) 会員増強の目標として、支部会員450名、センター会員1,000名を達成させよう
以上。

1 人でも多くの入会をお勧め下さい

！ 私の提言

技術士資格を活かそう

久保田 信一（育成委員長・福岡・建設・農業）

僅かに4頁で創刊号を発行された季刊会誌“技術士だより”が増頁と見直しを重ね、支部・センターの運営・活動に多大な貢献を尽くしながら第28号を迎えたこの期に、再見直しを検討なさるようである。編集委員の方々のご苦勞をねぎらい、前進を目指す会誌刷新のご努力に敬意と深謝をお伝えしたい。

技術士法第1条の「技術の向上と国民経済の発展に資す」と表明された制定目的について、受験者の勉強を手伝う技術士能力育成講座では“合格へ至る考え方”の根本理念であることを強調力説している。一方、合格祝賀の研修会では“合格後の技術士人生を設計する際の指針”とする旨に解説している。

しかし乍ら、上記編集委員の方々とは違って“試験合格＝卒業”に解釈された、前進の為の努力不足の方を数多く見受けられる。問い合わせに「誰彼氏は技術士を名乗っているが、本当なのか？」との声を聞く度に、己の解説の微力さを嘆いて悲しき想いへ陥っている。かような無念さから、「試験合格よりも資格を活かすことの方が余程難しい」との話を、ここに紙面を借りてお伝えしたい。新合格祝賀研修会における講話の再現です。

第一に、各人が良い仕事を続けたいものである。試験合格で技術士の登録すれば幾分は利益を生む側面もあるが、それだけでは資格活用が不十分なのです。「技術士のやった仕事はさすが立派だ！」との評価を聞かされる一方で、「彼の担当した此は本当に技術士の仕事なの？」との指摘の声が耳へ入る時、他人事ながら無関心では居れません。技術士各人が良い仕事をするように励んで社会的な

／評価を高めることが、本人と会友の資格を最大限に活かす手段へ思われるのである。

第二に、技術士会会務へ積極的に参加したいものである。支部・センターの組織は同じ顔ぶれで固定された活動状況にあり、残念に思えます。会誌への掲載や会員研修等の参加へ合格以来は拝顔されない方達に対し、ご参入下さることをここに勧誘したい。当会誌では先月号のような呼掛けが多い他に様々な意見が出されるから推進論・討論やPR等々の新しい建設的な投稿加担を、また会員研修会類で懐かしい人との出会いを期待します。そんな中に資格を活かすための糧が、必らず掴めるに違いないものと思うからである。

第三に、技術士を増やすことに協力したいものである。受験予定者の指導育成はもちろんのこと、受験への啓蒙活動の他に上項2つの如き活動を実践することにより、技術界で先兵役を果たして未合格の多数技術者へ関心を呼ぶような資格者でありたい。新しい技術士の誕生を促すことによって会員増強を果たし、益々活躍する技術士会を実現して社会的知名度の高揚を図りたく思うのである。

技術士を名乗るから、また会員だからというだけで「棚から牡丹餅」が落ちて来る筈はなく、積極的に棚まで上って自身が餅を作りたいものです。試験合格が技術士への入学許可であるとの初心を思い出し、同編集委員の方達同様に、刷新・前進へ向けた努力を取り戻そうではありませんか。取得した資格を最大限に活かすため、且つ各自の人生を豊かにするため、会友の皆様達へ提言申し上げた次第です。資格をより一層活かしましょう。

日本技術士会近況

水上 信昭 (九州支部長)

◎平成7年度第3回支部長会議

報 告

- 1)日時 平成8年3月14日(木) 13:30~17:30
- 2)場所 (社)日本技術士会 本部会議室
- 3)担当 近畿支部
- 4)出席 本部:杉田、館谷副会長、
保坂専務理事、谷嶋常務理事
支部:佐々木(北海道)、杉江(東北)
中山(北陸)、中川(中部)、
秦(中、四国)、水上(九州)、
森川(近畿) 各支部長

5)議事内容

1. 技術士補対策 (本田委員長説明)
現況・月刊「技術士」に技術士補の
ページ新設。
・補に関するパネルディスカッ
ションの開催。
・夏期2日間の研修会。
・補の為の忘年会の開催、大学
へのPRを行っている。
結論・支部長会として、各支部のや
り易い方法で、補の支援を行
う。

2. 本部コンピューターの会員DBの利
用

フロッピーの利用について、
本部の利用機種は、
ソフト: dBASE-III、
ハード: NEC-PC-98
シリーズ

である。

3. 技術士制度の全般について、見直し
の時期である。

要旨・会設立50周年を控えて、全
般について見直す必要がある。

結論・杉田政策会委員長より、「選

挙制度の見直しと渉外委員会
の位置づけ」について理事会
に答申する予定である。

4. 建設コンサルタント登録の追加部門
について

要旨・平成6年度改正の技術士試験
部門中、水産部門・水産土木
(漁港)が建設コンサルタント
登録規定の登録部門に追加さ
れていない。同部門追加につ
いて、科学技術庁を通じ、農
水省(水産庁)と共に、建設
省に申し入れて欲しい(現在
合格者36人)

結論・本部から、機会を見て働きか
ける。

5. 試験事務と登録事務の改善

要旨・技術士の信頼性確保の為、試
験における不正防止、登録者
の現況把握を確実にするため、
写真入り身分証明書の発行。
登録と同時に日本技術士会に
自動的に入会するシステムを
確立する提案。

結論・本部の見解としては、有資格
者に入会義務を強制すること
は、現段階では困難と思われ
る。支部長会議としては、趣
旨は理解できるが、3.の問題
とも関連して別途提案したい。

6. 支部経理状況(継続審議)

要旨・各支部共、会費収入のみでは
赤字で、年間必要経費は最低
400~500万円になる。不足分
は支部長所属の企業にオンブ
(次ページにつづく)

(本部近況のつづき)

しているのが実状だ。

- ・各支部長から会員会費の還付率の増加(1/3を1/2に)、賛助会費・準会員会費の還付について要望があった。

結論・平成8年度予算が承認された状況下で、すぐにとは行かな

い。各支部の最低維持費を試算して、担当支部に連絡する。

追加) 平成8年度第23回技術士全国大会(平成8年10月14日於横浜市)実行委員会から、計画の概要説明と協力依頼があった。

◇ 創立45周年記念・第23回技術士全国大会'96 ◇

ご案内

◇大会 テーマ **新しいパラダイム
ー技術創造の社会づくり**

◇期 日 1996年10月14日～18日

◇開催場所 横浜ランドマークタワーロイヤルパークホテルニッコー
〒220-81 横浜市中区みなとみらい2-2-1-3 TEL 045-221-1111

◇参加資格 会員、準会員、賛助会員および有資格者、一般企業、学生

<日 程>

14日 (月)	見学会(麒麟ビレッジ・シークルージング(昼食)・三菱みなとみらい技術館) 懇親ゴルフコンペ(横浜カントリークラブ) 開基大会(ヨコハマプラザホテル 10:00) 各部会前夜祭		
15日 (火)	10:00 13:00	分 科 会	第1 国際協力のあり方
			第2 環境・安全と品質のマネジメント
			第3 インターネット
			第4 創業・起業 活性化支援
			第5 21世紀の技術士
		特別	東京湾横断道路
	9:00 15:00	イベント	女性技術士の会による 相談コーナー、シティアルカディア、チャリティバザール
		レディ ス コ ー ス	油壺マリンパーク、港の見える丘公園、外人墓地 山下公園(人形の家、氷川丸、マリンタワー)
	15:00 ~ 16:00		記念式典
	16:30 ~ 18:00		記念講演 柳原良平氏(世界の港、船さまざま)
	18:30 ~ 20:30		記念パーティ

(次ページにつづく)

.....
(本部近況のつづき)

<研修旅行>

A班	横浜市内	16日(水)	金沢工業団地・・・八景島シーパラダイス(水浄化設備) ・・・金沢文庫、称名寺
B班	房総方面	16日(水) 17日(木)	幕張(見学)・・・鯛の浦(観光船)誕生寺・・・天津小湊(泊) ・・・かずさDNA研究所・・・TEPCO新エネルギーパーク ・・・フェリー(東京湾横断道路を海上より見学)・・・川崎・・・ 羽田・・・横浜
C班	甲信方面	16日(水) 18日(金)	御殿場・・・河口湖・・・甲府・・・美ヶ原・・・浅間温泉(泊) 松本城・・・冬季オリンピック施設見学・・・善光寺 別所温泉(泊)北陸新幹線工事見学・・・東京

<宿 泊>

ホテル名	客室タイプ	宿泊料金
ロイヤルパークホテルニッコー	シングル	20,140円
	ツイン	13,390円
プリーズベイホテル	シングル	12,300円
	ツイン	10,300円
ホテルリッチヨコハマ	シングル	8,700円
	ツイン	8,240円

宿泊料金は1泊2食付、税金、サービス料込みのお一人様分です。

※全国大会に多数ご参加下さい。

参加ご希望の方は九州支部事務局までお問い合わせ下さい。

技術士会九州支部・九州地方技術士センター

🏠 行事・会合などの報告

◇支部・総務委員会(重富委員長)

①平成7年度会計監査

平成7年度の会計監査を、平成8年4月16日実施した。(会計監事全員参加)

監査結果については、定時総会で報告することになったが、講評は全般にわたって会計処理が整理されており、特に指摘事項はなかった。要望として、事務局の業務処理量の増に伴う対策を立案するようにとの要望事項が提案された。 /

／ ②平成8年度定時総会

日時：平成8年5月24日

場所：福岡商工会議所

午後1時から定時総会を開会した。各案件について審議を行った。

本年度は、重点実施項目として

- ・第24回全国大会準備実行委員会の設置
- ・政策委員会(特別委員会)を設置し、組織全般の見直しを検討することになった。(次ページにつづく)

（支部・センター行事報告のつづき）

◇支部・試験管理委員会

（齋藤委員長）

平成8年度技術士第二次試験受験申込状況

（建設）筆記試験日 8月28日（水）

（その他部門）〃 8月29日（木）

技術部門	福岡		全国	
	H.8	H.7	H.8	H.7
1 機械	51	53	866	797
2 船舶	1	1	11	9
3 航空	0	0	23	21
4 電算	49	49	1,593	1,440
5 化学	8	9	191	182
6 繊維	1	0	82	76
7 金属	3	4	142	141
8 資源	1	2	36	22
9 建設	1,411	1,260	16,799	14,601
10 水道	145	135	1,791	1,602
11 衛生工	44	50	842	822
12 農業	96	93	834	737
13 林業	21	19	177	168
14 水産	16	11	169	135
15 経営工	13	6	264	254
16 情報工	12	10	524	447
17 応用理	134	130	1,144	1,109
18 生物工	0	0	28	29
19 環境	49	51	651	734
計	2,055	1,883	26,167	23,326

◇支部・事業委員会（甲斐委員長）

1. 第1回科学技術セミナー開催（案）

官公庁職員と技術士の合同セミナーを名称を変えて継続実施する。

（開催担当） 福岡地区

（開催日時） 平成8年9月25日（水）

（会 場） 福岡サンパレス

福岡市博多区築港本町2-1

092-272-1123

（セミナーテーマ） 環境、クリーンエネル

ギー、省エネルギー対策

（出席者） 支部、センター会員、官公庁職員、一般300名

（会議開催要領） 13時～17時30分

参加費 1,000円

1) 基調講演 「わが国の新エネルギー政策」

2) パネルディスカッション

第一部 九州の環境

第二部 クリーンエネルギー開発

第三部 省エネルギー対策

3) 交流会の開催

参加希望者、来賓各位による立食パーティを開催する。

参加費5,000円 18時～20時

2. 平成8年度中四国支部・九州支部

合同研修会のご案内

開催期日 平成8年7月12日（金）～13日（土）

（1）見学会 三菱化学黒崎工場

サニックス産廃プラント門司工場

（2）交流会 北九州プリンスホテル

及宿泊 北九州市八幡西区東曲里3-1

〒806 TEL 093-631-1111

（3）参加人員 60名

懇親会費 6,000円

見学会費 1,000円

宿泊費（シングル）9,600円

大会参加及び宿泊申込者

九州支部事務局まで6月末日迄

（次ページにつづく）

.....

(支部・センター行事報告 つづき)

【コース】

◇7月12日(金)

集合 14:00	→	三菱化学黒崎工場	→	北九州プリンスホテル
三菱化学黒崎工場		14:10~16:00		交流会
正門前(JR黒崎駅裏)				17:00~19:00

◇7月13日(土) 貸バス

北九州プリンス	→	サニックス産廃	→	門司レトロの	→	J R小倉駅
ホテル	60分	門司工場	30分	街づくり事業	30分	解散
9:00出発		10:00~11:00		11:30~19:00		12:30

◇センター・能力育成委員会
(久保田委員長)

↑ 技術士制度・問題別出題意図と対応
法並びに研修法の基本的な考え方を
解説

◎平成8年度技術士第二次試験能力育成講座

午後(個人指導)

(1)第1回講習会 平成8年4月13日(土)

9:00~17:00

福岡商工会議所 505、605号室

午前(集中講義)

選択科目別の練習用課題提示及び出
題意図と答案作成まとめ方等の個別
指導

受講者 88名 出席者 86名

↑ 講 師 30名

政策委員会 (案)

九州支部の特別委員会として、政策委員会を設置する。

●目的

- ①支部・センターの組織の見直し
- ②財務基盤の強化
- ③会員の増強
- ④その他会の運営

↑

- ・委員長
- ・副委員長

帆足建八

青山次則

川崎迪一

斉藤清美

・委員

矢野友厚、江畑賢一、

向井治孝、城石高弥、

川野宏平、新城精一、

黒岩郁夫、山谷三郎、

北原徳雄、岡部九州生

三原節夫、芳賀三千億

重富秀雄、真鍋和義、

笠木直行、光岡 毅

●設置期間

平成8年6月から3ヶ年の予定

●委員会の組織

支部長の直轄機関として次のメンバーで構
成する。

全 国 大 会 へ の 募 集

第24回大会が来年秋に福岡で開催される予定です。つきましては、下記3点に関して皆様の意見を広く募集します。事務局宛に応募案を提出して下さい。締切は6月末日です。

①大会主題（メインテーマ）の提案

過去の主題を参考になさりたい方は、事務局へご連絡下さい。

②分科会コンセプトの提案

九州らしさの構想・発想なる内容を。
出場自薦者を発表概念と共に募る。

③行事内容の検討案

九州の特色を出せる催しの企画を。

第24回技術士全国大会（平成9年度） 準備実行委員会（案）

◎平成9年に九州支部で開催される全国大会の準備委員会を設置する

《準備実行委員会の組織》

顧 問	力丸良丸、土居貞夫、原井束男	
大会委員長	□水上信照	大会実行委員長 ◎矢野友厚
大会副委員長	◇川崎迪一	◎青山次則
		○新城精一
		●山谷三郎

総務委員会・事務局（講演・記念品・トラクション・行事等を担当）

□○○

委員長 重富秀雄

幹 事 江畑賢一、江崎親教、北原徳雄、町田貞徳、大宅公一郎

分科会委員会（分科会全般・大会宣言を担当）

◇○○

委員長 甲斐忠義

幹 事 是石俊文、岡部九州生、斎藤清美、朝日 輝、眞鍋和義

記念誌委員会（記念誌の作成を担当）

□◇○

委員長 久保田信一

幹 事 斎藤健男、棚町修一、完戸 鶴、小松栄一

研修委員会（見学会・ゴルフ・レディース見学会・研修旅行を担当）

◇○○●

委員長 城石高弥

幹 事 芳賀三千億、三原節夫、井川 仁、平野道夫

財務委員会（収支計画・広告・寄付を担当）

□○○●

委員長 帆足建八

幹 事 向井治孝、川野宏平、黒岩郁夫

※ 声の広場 地区活性化だより-18- 北九州この1年の歩み

江畑 賢一（北九州・代表幹事・化学）

北九州に於いては、OB人材を活用し中小企業の活性化・産業振興を図ろうという市長の施策とも相まって、技術士の公的立場での活動の場は広く、期待も大きいと考えられる。

個人ベースの活動では、主なものとして北九州国際技術協力協会への協力がある。コースリーダーやインストラクターとしての活動の他、昨秋は北原技術士が要請を受けて韓国企業の現地指導に赴かれた。地域産業への協力では福岡県工業技術センターの技術アドバイザーや、昨年7月新たに北九州テクノセンターに設置されたOB人材組織TS会のメンバーとしての中小企業総合相談事業がある。

技術士会ベースの取組として、北九州商工会議所の技術相談室がある。相談員は半年毎の交代で、相談室の普及活動と窓口対応に当たっている。10月の中小企業強調月間には、初めての試みとして移動相談室が八幡と小倉で開かれ、各所2名ずつの技術士が協力した。

会員相互の交流では以前から月1回の例会が定着し、まとまりの拠り所となっている。

昨夏、改めてアンケートを実施し、その回答に基づく対応と最近の動向を以下に列記する。

- 1) 従来の土曜日昼の開催では勤務の関係で参加できなかった人に配慮し、金曜日夜の開催に変更した。出席者に新しい顔が加わった。今年からは土曜昼と金曜夜の交互開催とした。
- 2) 例会の目的を技術交流・相互連携と考える意見が多い。重点をノウフーに置いた講演を軸に、新旧会員間の意思疎通に努めている。
- 3) 若手技術士は将来展望として、技術士業務の開拓と事業化への期待が大きい。事業主体を目指して小グループ結成の動きがあり、PL法グループが誕生した。微生物腐食及び設備診断各グループ結成の胎動が続いている。
- 4) 所属会員は約100名で、毎月例会連絡の結果、各月の出席者数は20名前後、最近の出席実績がある会員数は約50名である。

若いエネルギーと先輩の知恵と経験により、組織としての成長・活性化の道を歩んでいる。

第6部会・他部会との合同見学会（平成7年度第2回）

芳賀 三千億（第6部会長・長崎・経営工学）

日 時：平成8年3月15日（金）

見学先：(1) 西日本製糖(株)（13時15分～15時15分）、(2) サッポロビール九州工場（15時30分～16時30分）
海の香りとレトロの街、門司港に近い、上記2社の工場見学会を実施した。

当日は、あいにく春一番の前兆とおぼしき強風と小雨まじりの悪天候であったが、参加者は水上支部長をはじめ第6部会々員および他部会の方々のご参加を得て総勢20名であった。

◎ 西日本製糖(株) 見学

当社は明治37年に設立された大里製糖所にはじまり、その後、変遷を経て現在、大日本製糖と明治製糖両社の生産受託工場として運営されておりグラニュー糖、上白糖および角砂糖などを製造している。

見学に先立ち、まず吉田常務さんのご挨拶、ビデオによる会社概要紹介があり、尾辻課長さんのご案内で工場を見学した。

外観は設立時のままであるが、内部の機械設備は近代的設備が施されており、原料糖から製品までの工程は、すべて中央制御室で監視制御され、最終工程の包装や角砂糖成型に至るまで自動化されており、衛生面に十分な注意が払われている。

なお昭和59年からTPM活動を展開し昭和62年に「PM優秀事業場賞」を受賞している。

◎ サッポロビール(株) 九州工場 見学

移転問題で話題となった、日本で最古のビール工場で、現工場の見学は「ラストチャンス」との想いで見せて頂いた。

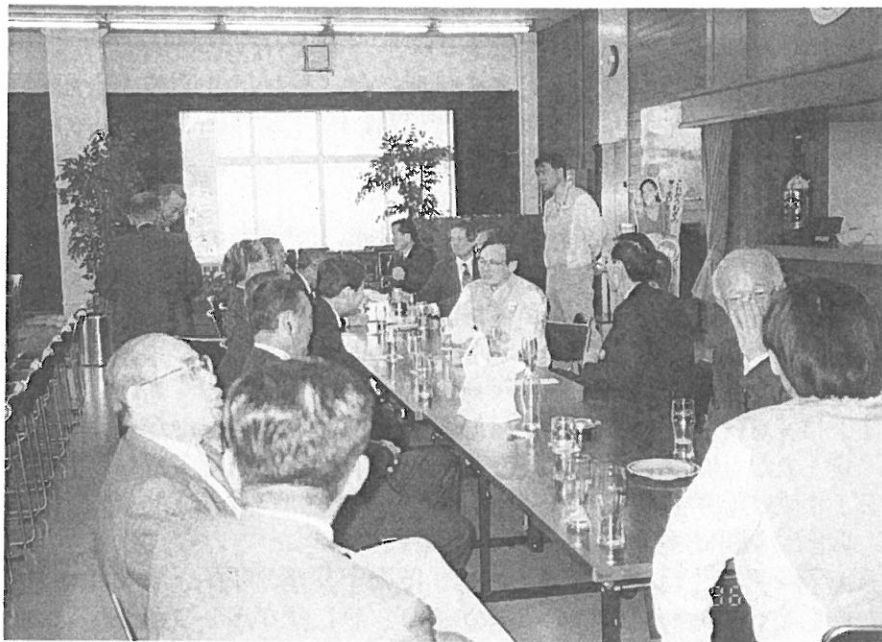
＜つづく＞

エンジニアリング部長の細野さんと、パッケージ部長の滝波さんの、ご両名にご案内して頂き、まず展示室で原料（主原料は大麦であるがビール製造に最も適した二条大麦だけを使用）、副原料のいろいろを見せて頂いた。

工場は完全自動化であり製麦－仕込－発酵－セラミックろ過－びん詰－製品検査－ラベル工程と流れに沿って見学した。

見学後、スターホールで、眼の前の響灘や遙か彼方に見える巖流島を眺めながら、質疑応答と談笑を交えて、できたてのビールの味を堪能した。頃合いを見計らって、案内して頂いた方々に謝辞を述べた後、散会した。

末尾ながら、今回の見学会の一切を取り仕切って頂いた田中議治幹事に、改めてお礼申し上げます。



🔧 運輸省水理実験センター見学会報告

西井 康治（北九州・建設）

去る3月12日、北九州地区月例会は下関市にあります運輸省第四港湾建設局下関調査設計事務所の水理実験センターを見学しました。参加者は水上支部長を始め、総勢21名。

当日は水理実験センターの田中水工係長より、造波長水路を用いた水理模型実験の様子と施設全体について説明を受け、さらに第四港湾建設局の大釜技術開発課長より、最近の運輸省の技術開発の動向について、資料を用いた講演がありました。以下、このときの概要を紹介致します。

見学：潜堤による長周期波の制御実験

白砂青松を枕詞とするわか国の美しい海岸は近年侵食傾向にあり、国土保全を中心とする海岸コントロールの技術はますます重要となる傾向にあります。その中で潜堤を用いた長周期の重複波制御は斬新な対策手法の一つであり、本実験は潜堤が汀線付近の長周期波に与える影響を再現し、さらに最適な構造諸元を策定することを目的としております。

見学：水理実験施設

当センターは、潮流・波浪実験水槽、造波・廻流長水路、平面水槽、二次元長水路の施設を有しており、特に潮流実験水槽では、今年関門海峡の潮流を再現させる大がかりな模型を用いた実験を予定しております。

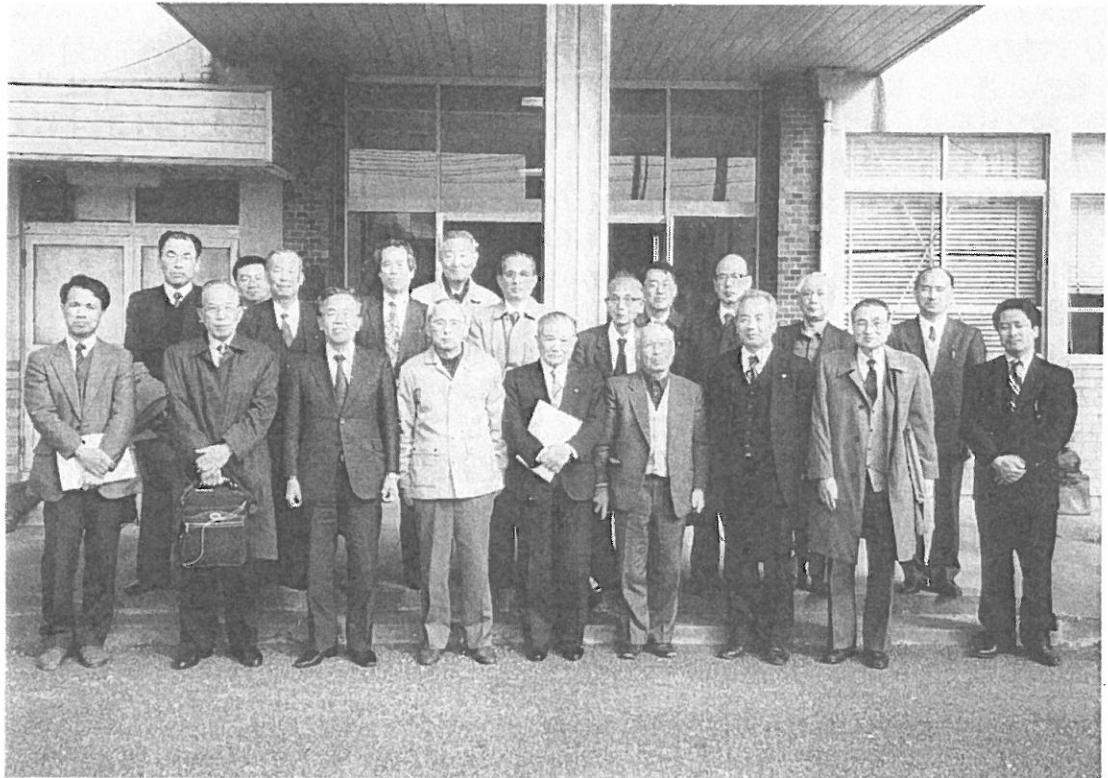
講演：大交流時代を支える港湾と技術開発

第四港湾建設局では、運輸省が策定した標記の長期港湾政策に合わせ、九州・山口地方の港湾整備に係わる技術開発の目標として、『低コストで高効率』と『人と地球にやさしい』というテーマを掲げております。この事業化の一例として、熊本港では地盤改良を施さない軟弱地盤着定式防波堤を開発し、建設コストの大幅な低減を実現させました。

このような運輸省の姿勢に対して、参加者から環境問題や今後の技術開発のあり方について熱心な質疑が出され、時間を40分近く超過する有意義な見学会になったことを報告し、本レポートを終わります。

北九州地区代表幹事注記：

見学会は、西井氏 始め(株)三洋コンサルタントのお世話で開催することが出来ました。紙面を借りて御礼申し上げます。



技術士受験体験記

中山 義彦（福岡・平成7年度・建設（施工計画））

1. はじめに

10年前から「九州地方技術士センターの受験対策講座」については折りにふれ耳にいたしておりましたが、昨年一念発起で当講座の門をたたきました。受験対策は7年度、8年度の2年計画で対応するつもりで取り組みました。幸いにも適切なご指導のおかげで合格でき、当講座の先生方には深く感謝しております。

2. 受験対策

申込書を提出したら8月下旬の筆記試験迄の受験スケジュールを確立することが重要です。私はスケジュールを決めるにあたり、次の2点を主眼におきました。

- ・まず、体験論文を完成させる。
- ・必須専門と選択専門は十分な資料収集の期間をとる。

受験スケジュール

	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	備 考
体 験 論 文		資料収集	作成・添削			暗記	
必 須 専 門		資料収集		作 成		暗記	
選 択 専 門			資料収集		作 成	暗記	

(1) 受験にあたっての心構え

私自身、技術的能力不足と遅筆を日頃から痛感しておりましたので、申込書に記載した主な業績に関する資料収集と自己研鑽に努めました。又、午前中5枚(800字詰)、午後10枚を埋め尽くすことは非常に大変です。したがって試験直前の数日間は暗記と時間内に書く練習に専念しました。いかに早く書くか、図表の書き方等の工夫が大事です。

① 受験対策スケジュールを決めたら何か何でもノルマを消化する意志と根性を持つこと。

私は、夜1～1.5時間のノルマを設定し、出来なかった時は翌朝フォローしました。

② 論文作成は、3つの試験科目を同時に手をつけず、まず体験論文を完全に仕上げていく方法が、私の経験から良いと思います。

③ 私は2名の技術士に添削を依頼しましたが、技術的疑問点は、社内外を問わず多くの方々の意見を聞き、その中で納得出来るものを取り入れました。

『他人の権で相撲をとる』ことも大事かと思います。

(2) 体験論文

申込書の主な業績は、どれでも体験論文として作成出来るものを記載し、その中から類似工事を避けて造成工事と海洋工事を選びました。論文は平易で読みやすい文章に心がけ、図表を巧みに取入れて技術的深みを表現するようにしました。添削は本講座の先生と社内技術士にお願いしましたが、あくまでもアドバイスと考え、自分自身で完成させることが大事だと思います。

(3) 必須専門

色々な文献や意見を吸収し、持論を構築することが大事です。私が参考にした資料は以下の通りです。

①土木学会誌

④建設業界

⑦土木技術便覧

②日本経済新聞

⑤土木用語辞典

③日経コンストラクション

⑥建設白書

建設一般は大きなテーマと小さなテーマが出題されますが、社会資本整備、技術開発、環境問題、国際化は建設部門の4大テーマであり、どのような設問に対しても、必ず触れる必要があります。

私は各項目のユニットを作成し、設問に応じてそれを組み合わせるようにしました。又、日本経済新聞は面接に大いに役に立ちました。

(4) 選択専門

私が受験した施工計画では、設問が多岐にわたるための絞った受験対策が必要です(15問中2問解答)。又、6年度から積算に関する問題が3問出題(15問中)されますので事前に用意するには有利かと思います。

3. おわりに

合格してみて感じることは、今、ようやく出発点に立ったということです。「社会のプランナー」として、広い視野に立った知識の修得に努めていきたいと考えております。技術士としては1兵卒ですがこれを機に九州地方技術士センターに入会いたしましたので、今後共、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

技術士試験体験談

篠崎 武樹 (北九州・化学部門(セミックス及び無機化学製品))

1. はじめに

私は、2月2日合格発表の日、P/Cのキーボードを叩いて、合格者名簿を見た時のことが今でも忘れられません。毎年、「今年こそ……」とある目標設定をするのですが、平成7年度は、生まれて初めて目標を自ら設定し達成した様な気がします。

受験の動機は、eng'erとして世間に認めてもらえるか否かを確認したかったのと、誇れる資格がほしかったことですが、実際に入会してみて、諸先輩方の活動を拝見して、今後更に研鑽を積みまねばと身の引き締まる思いがします。

私の受験の顛末記が今後受験されようとする方にとって、少しでもお役にたてばと思い以下、keyを叩きます。

2. 受験に際して

(1) 勉強方法をどうするか

I-1 自分の業績に関する問題；自分の過去の業績を一覧表にまとめ、その中から3～4例を解答用紙1～3枚にまとめる練習をしました。ただし、その中でも最も成果を挙げたと考えられる業績については、現状の動向、経済性、今後の展開等をしっかり整理しました。また、現在話題性のある事項については、特に注力し記述することにしました。例えば、PL、ISO 9000&14000、環境問題（LCA）、FA化等です。

⇒記述した内容が、他人が読んで理解できるか、自分で読んだ場合に違和感が無いのか。

独りよがりにはよくない；添削を受けることで「安心感、安堵感」が出てきました。

過去のことを述べるため、記憶から薄れています；特許、文献報告書等を読んで、再度論文を構築しました。

I-2 最近話題になっている事項に関連する問題

- ・ 独自の用語ノートを作り短文にまとめる練習をしました。
- ・ 新聞（化学工業日報；会社でとっているのを、必要な箇所をCOPY）
- ・ 業界紙等；化学経済（同上）、化学工学、無機マテリアル、社内報
- ・ 特に特集しているITEMは要check
- ・ その他参考書；イミダス、データーバル

II-1 I-1と同様

II-2 用語説明問題 化学部門は毎年必ず出ます。

I-2と同じ 独自の用語ノートを作り短文にまとめる練習をしました。

全般；過去の試験問題の調査、解析 同じ問題は少なくとも、過去3年は出ない。

（参考にはならないかも）

購入した本；受験のために多くの本を新たに購入しましたが、以下の様な結果でした。

オーム社；以下4冊、殆ど参考にはならず。

技術士試験	@3200	技術士試験答案例集I-1	@3000
続・技術士試験	@3800	〃	I-2, II @3000

少し役に立った本

技術士突破試験マニュアル；田江義博	@2700	技術士試験問題集平成元～5年版	@5000
-------------------	-------	-----------------	-------

技術士試験問題集平成6年版	@1600	イミダス、データーバル ⇒ 是非必要
---------------	-------	--------------------

その他；P/C通信 Nifty-Serve FLIC技術士の部屋

是非ROMされることをお勧めします

(2) 勉強時間

原則的に正味2時間/d。それ以上は、色々外乱もあり不可能でした。500時間勉強するとよいという話を某技術氏から聴き、それを実践しました。

6月、7月が中だるみ；当初スケジュール表を作成したが計画通りに進まず…。人事を尽くして天命を待つ⇒ということになればいいのですが、実際は中々うまくいきませんでした。

(3) 勉強中のおつきあい

技術士の受験は家族及び上司（業務経歴が必要なため）のみ表明したため、つきあいの悪いやつといわれることもありました。飲み会は最高2次会までとし（門限24時）、深酒を慎んだつもりです。⇒家族からは逆に、喜ばれるメリットがありました。

(4) 答案について

試験の答案は全て文章によって、自分の持っている技術力をいかにして試験官に理解（納得？騙す？という人もいるそうですが）させるか、実際文章を書いてみるとなかなか難しい

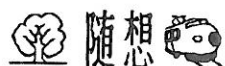
ものです。実際に私が行ったことは、key word を羅列、技術のポイントは何かを明らかにし、何が言いたいことを明確にして、枝葉をつけていく様にしました。

3. 受験時のコメント

- (1) Never give up! 最後(の1分)まで書き続けたことが、良き結果をもたらしたものと考えます。
- (2) 筆記用具; 日頃使いなれたものを使用する。特に消しゴムは良いものを使用することを薦めます。
- (3) 弁当、水筒、タオルは必ず持参、但し、冷房がいてあるため、場所によっては少し厚手の服が良いと思います。(福岡会場の場合です)
- (4) 記述試験のため、正解はない; 少しでも、知っている関連部門があれば、その内容と結びつけて記述することです。
- (5) 最後に; 受験勉強は(技術士に限らない)が、資格取得のためではなく、それを取得するために十分な実力をつけていると考えれば、少しは気楽になると考えます。合格したら、周囲の目が少し変わる(給料が変わればもっといいのですが)、1人前のeng' erとして評価してもらえる等、リットは少し享受している様に思えます。また、来年があるという考えではなく、今年合格するぞという気力で努力すべきです。(特に家族に迷惑がかかっていますし、精神衛生上、疲れる試験です)

4. おわりに

技術士としての、今後の自分の姿がどうあるべきか、その最終究極点(臨界点)はどうあるべきか、自分なりの目標設定を行い、本会の活動を通して、学んでいきたいと考えます。また、諸先輩先生方の足元に、一步でも近づけるよう励んでいきたいと思っておりますので、ご指導、ご鞭撻の程を、宜しくお願い申し上げます。



水の旅(2)

竹内 良治(北九州、衛生工学・水道・建設)

※前回のあらすじー 水道局の職員がわさび栽培技術の習得のため、伊豆と穂高に出張することになった経緯。伊豆では、日本唯一のわさび栽培の研究機関であったが説明はしてもらったが、見学・苗分け共に即座に断られ目の前が真っ暗になった。……

4) 甲府経由、穂高まで

沼津まで下り、身延線を富士川沿いに登る。富士川は新幹線からしか見たことはないが、学生時代に本川にダムがないのでゴムボート下りを計画したことがあり、じっくり川を観察することとした。

富士川は一言でいうと大きな河道断面と岸边から見ると中央に小さな流れがあるだけで、川原は白っぽい川石に覆われているだけであった。近づいてみれば結構な流量と思われたが、なにせ電車からはちょろちょろに見えるだけであった。この時期が十月下旬であったのでちょうど渇水期であった。しかし、豊水期ともなれば、川幅一杯に流れる状況を想像したが、毎秒何立方メートルになるのであろう。昭和58年富士川にかかる国鉄の鉄橋が流されたが、このときの最大流量は毎秒3358立方メートルと平年の二倍以上の最大流量となっている。この富士川の治水に成功し、今も評価の高い信玄堤、霞堤などは一生の内ぜひ見ておきたいと思っているが、今回は見送らざるを得なかった。

やがて、日も沈み暗くなった。車窓の景色も見えず、頭を窓につけてぼやっとしていると、とある駅に停車した。すると、見たことのある顔が降車した人々の中にあった。なんと、わか職場の隣の穴生浄水場の所長石川氏であった。窓が開かないので窓をどんどん叩くと、向こうも気付いたらしくびっくりしていた。甲府に到着。ビジネスホテルで一泊し、早朝の出発となった。駅までの途中に甲府城跡があったので、城内を通過しながら駅へ向かった。この城の面白いのは普通の石垣と異なり、丸い石が用いられていた。広大な河川敷にごろごろ転がっている川石を利用

したのであろう。再び車窓の人となり、好きな車窓の風景を眺めることとした。富士川流域から天竜川流域に抜ける経路に興味をもった。中央線は甲府盆地を抜け、やがて釜無川に沿っていたが、だんだん川と遠くなり、尾根づたいに走るようになった。そして、富士見というところか峠となっていた。これを越えると天竜川、正確にいうと諏訪湖の流域に入る。鉄道沿いの田んぼは圃場整備された大きな区画であったが、多くの田んぼは休耕田となり荒れ果てていた。まさに「国栄えて山河なし」である。諏訪湖の東をかすめ、岡谷から長いトンネルを抜けると信濃川の流域となる。松本から糸魚川にぬける大糸線に乗り換え、あこがれの穂高駅に着く。

5) 信州穂高にて

訪問先である宇留賀浜雄氏とは午後の予約となっていたので、午前中は大王わさび園へ行くことにした。駅からわさび園までは二キロメートル近くあり、貸し自転車で行くことにした。五分ほどで住宅地を抜けた。刈り取りの終わった広い田園風景が冠雪の始まった北アルプスを背景に雄大に広がっていた。わさびのできる所だから、水が豊富であることは想像できたが、田んぼの間を走る灌漑水路は幅3m弱、水深50cmの溝に水をいっぱいたたえ、相当速い流速で流れていた。水中にはグロテスクなカナダ藻の類ではなく、金魚藻風な柔らかい水草が流れに合わせて揺れていた。

大王わさび園は穂高川が梓川と合流する付近にあり、面積15ヘクタールという広大なものである。入場料が無料なのは驚いたが、中に入ってその商魂に驚いた。わさび漬はもとより、わさびアイスクリーム、わさび○○のオンパレードとなっていた。私たちはわさび栽培の調査にきたので、わさび苗の植え付け方法や水回しを注意深く観察した。

わさび田は親指大の黒い玉砂利で、櫛状の畝作りで櫛の歯が斜めになったような畝立てをしており、櫛の背にあたる畝の外から歯にあたる畝の方に水が流れるようにしていた。その水は再び下流の櫛状の田をうるおしていた。昼近くなったので昼食を取ることにした。メニューはわさびを使うものが主で、私の注文はパンフレットに掲載されていた鉄火丼とした。わさびは原型のまま出され、客が小さなわさびおろしでおろす面白い趣向である。

食えるときは感激し、後になってわかったが、このとき出されたわさびは親指大のもので、商品価値としてはわさび漬の原料しかならない最低のものである。それを最高級のわさびの付加価値をつけて、観光客に出す商才には恐れ入った。すべてがこの商才で経営されているわさび園の売上を思わず計算してしまった。(150万人×2000円=30億円)これが一個人の経営での売上である。

大王わさび園を後にして町を散策することにした。穂高川沿いに自転車を走らせると、堤内地にわさび田が広がっていた。このわさび田は大王とは異なり、白い山砂からなり、水の流れも畝間を並行に流れる単純なものであった。やがて約束の時間となったので宇留賀氏宅を訪問した。浜雄氏は雑誌でお目にかかったとおりの優しいお顔の中に古武士を感じさせるものがあつた。ご恵与された著書によると、彼の経歴は陸士卒業後、陸軍幼年学校の教官となったが、終戦を迎え郷里に帰って三代目わさび農家を継ぐこととした。

当時のわさび栽培は脇芽を苗としていたため、病気が四、五年おきに発生し、その経営は困難を極めていた。わさび農家はわさび田を鱒養魚池に代えていった。とくに、昭和30年頃導入された島根という品種は優秀であったため、病気は来なかったが、逆に十年目に襲った病気は激しく穂高のわさびは壊滅状態となった。

そこで宇留賀氏はこの病気は脇芽苗が原因とし、昭和30年頃から実生苗の研究を始めた。種の保存方法も乾燥すると死滅してしまうため、濡れ砂の中での保存方法を開発した。出芽条件としては数か月の冷温期が必要であることがわかった。育苗技術が確立すると、育苗を福島県の戦友に委託することとした。苗床は無菌状態に近い燐炭(太陽エネルギー)を用いた。静岡のわさび分場の育苗がスポンジ(化石燃料)と土(有菌)を使っていたのを思い出した。

ここまで話を聞いたとき、思わず苗の入手はできるのですかと聞いた。すると、一本三十円と送料で好きなとき、好きなだけ入手できますよという明快な返事があった。これを聞いて今までの不安が吹っ飛んでしまった。応接室の上に黄綬褒章の額が飾られていたが、これは平成4年度

にわさびの栽培技術研究によるものであった。苗の入手は半ば諦めていたので、その喜びは倍加するものであった。お役人根性で偉そうな公立試験場と町民の命を懸けた個人の努力の実力差を見た感がした。

わさび苗を注文し、屋敷の一角にあるひさび漬工場を見学させていただいた。すべてステンレス製で非常にきれいに整理整頓されていた。従業員20名で売上4億円とのことであった。宇留賀氏の著書である「穂高のわさび」をご恵与いただき、宇留賀邸を後にした。その日は松本駅前の東急インに投宿した。

ここで、稲もわさびも水田栽培で水運用が重要なポイントとなるが、両者におもしろい対比を宇留賀氏から教わったので記しておく。

稲はご存じのように水を引くのに苦労する。できるだけ上流の高いところに堰を設け、本川沿いに水路を掘って水田を潤すのが一般的である。さらに水路は通潤橋のように谷を越えたり、朝倉の三連水車のように下から上に水を上げる工夫も見られる。すなわち、稲は水を取り入れるまでが決め手となる。

穂高のわさびはこれとは逆で、水は地面を2mほど掘ればいくらでも湧出してくる。ところがわさびは流水でなくては育たないので、排水に苦労するのである。したがって稲とは逆に、わさび田は下流に向かって排水路を掘り、できるだけ下流に放流する。下流に放流できるほどわさび田を深くでき、豊富な湧水を流すことができるからである。

もっとも、稲の湿田において、裏作ではわさび田と同様、排水が重要な要件となる。

6) 大都市の収奪

翌日は上高地へのバスハイクとなった。6時間、6000円のコースである。りんご畑が散在する扇状地を抜け溪谷に入った途端、巨大アーチダム連続となった。下流から稲核、水殿、奈川渡とあり、その堤高はそれぞれ60、95.5、155mの規模である。特に奈川渡は水殿を下池とした揚水発電をするもので、毎秒540m³の水を夜間揚水し昼間に落下して、623千kwの発電をするものである。

現在、水力発電による河川の環境破壊が注目され、その内容は発電放流がダム下流数km無水区間が生じている。水生生物生態以前の状況にある。この件に関し、建設省は発電水利権更新時に従来の全量発電からある一定量を環境保全水としてダム放流を義務付けることとしている。揚水発電を目の当りにして思ったが、本来溪谷に棲息している岩魚やヤマメなどはダムで移動を妨げられ、一日二回の発電タービン経由の水の動きにより魚が一旦吸い込まれたら、魚ミンチにされる運命となる。そのせいか、眼下の水面は透明感がなく、水色も悪く、こんな山奥にあっても透明度は2m位に感じられた。

三ダムの諸元（発電関連は最大値）

	奈川渡	水殿	稲核
堤高 (m)	155.0	95.5	60.0
出力 kw	623	245	32
水量 m ³ /s	540	360	54
事業費10 ⁵ ¥	15059	4277	1824
竣工年	1969	1970	1969

ダムの案内板でこれが東京電力のものと知って怒りが倍増した。関東地区は日本海側の水の取水に関心をもっているが、電力に至ってはとっくの昔から盗電していることになる。そういえば、木曽川水系は関西電力であり、関東、関西は流域を越えた周辺地域からの収奪で、繁栄している一面をあらわしている。また、只見川に見られるように電源開発という得体の知れない組織が発電し、せっせと東京に貢いでいるようである。東京電力も社名をC Iでトーデン（盗電）とすべきであろう。

地方分権がいわれて久しいが電気エネルギーのみならず水そのものを収奪し、過疎に拍車をかけておいて、地方よ、村よ、発展しなさいとは虫が良すぎる。すぐには実現できないと思うが、香港返還のように、一・二世代（30～50年）後には管轄流域外にある発電施設はその自治体に無償で返還するべきである。この施設からの売電により、地方交付税などの中央集権から脱却でき、自己財源による治山治水が可能となろう。同様に、水道の流域外利水についても、水源地の自治

体からの購入とし、この財源も、治山治水、山村復興の目的税にすれば、過疎、農村などの問題に歯止めがかかるであろう。

無償での返還は無体なと思われる方もおられるでしょう。建設にあたってはきちんと補償はしている筈であるという考え方である。しかし、当時、環境の価値、ダム建設による村の繁栄という空手形、森林保全に木材の経済価値しか認めなかった林業政策など、東京電力が収奪したメリットと立ち退かされた人々のデメリットを差し引きすれば、無償返還でもおつりがくるのではないか。このような考えが、公に認められつつある証として「特定ダム法」等の法律整備や、ダム水源地環境整備センターなどの組織もつくられている。それでもまだまだ十分とはいえない。

東京大停電は考えただけで空恐ろしい災害であるが、だからといって、一極集中を緩和しないまま、東京電力を除く電力7社が東京に間接、直接応援するのはどうしたものであろうか。関門大橋の隣に巨大な50万KV送電ケーブルが併設されているが、間接的な電力応援の動脈なのである。新潟からは100万KVのデュアル送電が建設されている。

応援が悪いと言っているのではなく、一極集中による過密の弊害と、収奪された地方は繁栄の機会を奪われるだけでなく、過疎という致命的な社会崩壊現象を生じているのが問題である。これでは二方面損である。

話がそれだが、いろいろ考えさせられる巨大ダム群であった。上高地は絵はがきどおりの美観であり、大正池、河童橋、ウェストン碑と特別変わったものはなかった。目の前の小川にやまめの類が泳いでいたのが印象的であった。この観光コースは11月3日で閉鎖されることになっており、その4日前に来れたのは幸運であった。

その夜は浅間温泉に投宿した。近代的な高層ホテルで、温泉とは名ばかりで見た目は白木の和風づくりであったが、沸かし湯で一晩中ボイラーの音が響き、味気ないものであった。料理のサービスも普通のもので、伊豆と宿泊料金が同じであっただけにその断層は大きかった。

30日、松本から中央線経由で名古屋に向かった。途中の本曾流域は山深く、流域の95%が山岳地帯といわれているだけに、そのとおり美しい景観を呈していた。名古屋で降りて、駅ビルで昼食をとった。メニューは再び鉄火丼であった。この丼のマグロの厚さ大王わさび園の倍はあり、わさびはもちろん本物で非常に旨かった。再び、大王わさび園の儲けぶりが脳裏に浮かんた。

名古屋から新幹線で無事小倉に18時到着し、今回の4泊5日の旅は終わった。

(参考)

水質測定結果(採水日 H5.10/27~29)

	水温	μS	pH	Alk	硬度
柿田川	15.1	150	7.60	48.0	51
浄連滝	13.2	60	7.00	23.0	18
大王	13.0	121	6.54	31.7	40
梓川	7.9	36	6.82	13.5	18

採取した4箇所の水質はそれぞれ名水の面影を有している。柿田川は年間を通して一定水温であり、地下水にしてはpHが高いのが珍しい。

大王は北アルプスに降った雪が溶け、穂高の扇状地を伏流してきた水だけあってpHが低い。

梓川は表流水でありながらpHが低いのは近くに焼岳があるように火山性によるものである。

しかし、この水を飲み比べても、いずれも軽くて喉ごしが良いという判定に終わるであろう。

おわり



会員ニュース



★ 九州地方技術士センター正会員、資源工学部門・福岡地区 児玉賢一先生が、平成8年4月3日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

☆社日本技術士会(九州支部)入会

—以下敬称略、受付順—

(地区)	(区)	(氏 名)	(技術部門)	(連 絡 先 ・ 勤 務 先—下段)
大 分 正員		洲野 正雄	建 設	〒870-03 大分市大字坂ノ市104 ☎(0975)93-4466 勤務先 西豊工業(株) ☎(03)5472-2356 FAX(03)5472-2689
長 崎 "		林 誠治	"	〒857-01 長崎県佐世保市矢峰町173-6 ☎(0956)49-7039 勤務先 辻産業(株) ☎(0956)47-3111(代) FAX(0956)48-5440
福 岡 "		松永 雄二	環 境	〒815 福岡市南区長住2-3-34 ☎(092)561-5928 勤務先 (株)新日本環境計測 ☎(092)561-8716 FAX(092)561-4791
宮 崎 "		渡辺 康之	水 道	〒880 宮崎市霧島3-27-2 ☎(0985)24-6098 勤務先 (株)水理設計 ☎(0985)20-0252 FAX(0985)20-1652
福 岡 "		木村麟太郎	農 業	〒815 福岡市南区長丘5-6-21 ☎(092)551-5757 勤務先 (株)スリーエヌ技術コンサルタント ☎(092)582-3331 FAX(092)582-3333
"		日下部岩正	建 設	〒816 福岡市博多区東光寺町1-15-33 ☎(092)431- 勤務先 (株)構造技術センター福岡支社 ☎(092)471-1655 FAX(092)481-0318 -6413
大 分 "		八鹿 昭祝	"	〒870-11 大分市大字田尻817-36 ☎(0975)69-4716 勤務先 (株)富士設計 ☎(0975)36-1479 FAX(0975)36-1830
福 岡 "		大櫃 宣弘	水 道	〒819 福岡市西区生松台1-4-2 ☎(092)812-3014 勤務先 八千代エンジニアリング(株) ☎(092)751-1431 FAX(092)751-3038
長 崎 幹員		衛藤 政浩	応用理学	〒858 長崎県佐世保市棚方町424-249 ☎(0956)48- 勤務先 旭地建(株) ☎(0956)65-2113 -7071
北九州 正員		佐藤 淳一	機 械	〒803 北九州市小倉南区企救丘1-23-5 ☎(093)961- 勤務先 佐藤技術士事務所 ☎・FAX上記に同じ -5635
熊 本 "		松尾 芳博	建 設	〒818 福岡県筑紫野市紫167-104 ☎(092)925-8372 勤務先 (株)九州開発エンジニアリング ☎(096)367-2133 FAX(096)367-2158
"		勇 秀忠	"	〒863 熊本県本渡市本渡町梓本戸馬場1454-8 ☎ 勤務先 共栄建設(株) ☎(0969)23-1188 FAX(0969)23-7945 (0969)23-8879
北九州 "		上野山 清	衛生工学	〒808-01 北九州市若松区青葉台西4-10-17 ☎(093)742- 勤務先 新日鐵(株)エンジニアリング事業本部 ☎(093)872-6332 FAX(093)872-6431 -4340
大 分 "		上尾 清光	農 業	〒870 大分市梓賀来字中河原1200-31 ☎(0975)49-3807 勤務先 西日本設計測量(株) ☎(0975)43-1818 FAX(0975)43-1897
北九州 "		松本 克彦	環 境	〒807-12 北九州市八幡西区笹田980-8 ☎(093)618-4677 勤務先 (株)九電工 ☎(092)523-1231 FAX(092)524-7036
福 岡 "		秋月 敏政	建 設	〒814 福岡市早良区原4-23-15-501 ☎(092)841-7430 勤務先 (株)ピーエス九州支店 ☎(092)271-3211 FAX(092)282-1767
北九州 "		秦野 徹	機 械	〒802 北九州市小倉南区若園4-6-18 ☎(093)962-3912 勤務先 新日鐵(株)機械プラント事業部 ☎(093)872-6332 FAX(093)872-6431

☆九州地方技術士センター入会

(地区)	(区)	(氏 名)	(技術部門)	(連 絡 先 ・ 勤 務 先—下段)
福 岡 正員		吉田 靖	建 設	〒813 福岡市東区舞松原3-21-29 ☎(092)662-6913 勤務先 西技工業(株) ☎(092)711-8811 FAX(092)711-8842
大 分 "		宮崎 辰彦	"	〒876 大分県佐伯市鶴岡町3-2-31 ☎(0972)20-9585 勤務先 南海測量設計(株) ☎(0972)23-2616 FAX(0972)23-2667

☆社日本技術士会(九州支部)退会

(地区)	(区)	(氏 名)	(技術部門)
福 岡 正員		村田 義郎	建 設
"		幹員A 石橋 守生	水 産

☆九州地方技術士センター退会

(地区)	(区)	(氏 名)	(技術部門)
福 岡 幹員		稲垣 裕	建 設

☆会員勤務先（住所）および連絡先等変更

1. 森下 明憲（電気電子）
勤務先 〒814 福岡市早良区百道浜2-1-22
福岡SRPセンタービル6F（株）九電工技術研究所
TEL(092)852-3406 FAX(092)852-3408
2. 船本 憲治（建設）
連絡先 〒814 福岡市早良区百道浜
4-31-1-1106 TEL(092)844-5222
3. 内山 順治（林業）
勤務先 〒849 佐賀市高木瀬東6-4-9
環境防災研究所
TEL・FAX(0952)30-6143
4. 太田 頼敏（農業）
連絡先 〒890 鹿児島市伊敷町7611-6
TEL(099)220-2010 FAX(099)220-0660
5. 鬼塚 諫（建設）
勤務先 〒880宮崎市中村3-4-46 カネサキビル
西日本技術開発（株）宮崎営業所
TEL(0985)54-6290 FAX(0985)54-6308
6. 渋谷 保男（建設）
勤務先 南日本総合コンサルタント（株）九州支店
TEL(092)581-4948
7. 四反田勝久（水産）
連絡先 〒890 鹿児島市武岡4-41-8
8. 川原 伸孝（建設）
連絡先 〒815 福岡市南区大池1-1-43
TEL(092)562-2808
9. 甲斐 良徳（建設）
連絡先 〒815 福岡市南区大橋
4-27-17-610 TEL(092)551-8781
10. 黒木 康夫（建設）
連絡先 〒810 福岡市中央区赤坂
2-2-10-701 TEL(092)725-1235
11. 元永 優一（建設）
連絡先 〒814 福岡市早良区百道浜
4-31-1-805 TEL(092)846-2332
12. 白谷 弘司（建設）
連絡先 〒816 福岡県春日市平田台5-20-6
TEL(092)596-5623
13. 松雪 清人（応用理学）
勤務先 〒810 福岡市中央区筈丘
1-11-13-302 環境工学リサーチ（株）
TEL(092)714-3860
連絡先 〒814 福岡市早良区原
3-9-35-401 TEL(092)841-0668
14. 松本 仁（建設）
勤務先 〒810 福岡市中央区筈丘
1-11-13-302 環境工学リサーチ（株）
TEL(092)714-3860
15. 満留 毅（建設）
連絡先 〒880 宮崎市生目台西2-5-1
生目台北団地9-14
16. 吉武 寿志（建設）
勤務先 〒879-04 大分県宇佐市大字上田
1301-2 大分県土地改良事業団体
連合会宇佐事務所
TEL(0978)32-1740 FAX(0978)33-3186
17. 平嶋 隆祥（農業）
勤務先 福岡県飯塚地域農業改良普及所
TEL(0948)23-4154
連絡先 〒824 福岡県行橋市梓流水1391-3
TEL(09302)4-6476
18. 岩田 真人（生物工学）
勤務先 〒838福岡県甘木市梓一本1070-10
アイ・エム・ビー（株） TEL(0946)23-2168
連絡先 〒838 福岡県朝倉郡三輪町梓山隈
1582-11 TEL(0946)21-1507
19. 山口 和登（応用理学）
連絡先 〒856 長崎県大村市久原
2-1201-34 TEL(0957)52-0233
20. 立山 徳雄（建設）
連絡先 〒880 宮崎市大塚町浜川田4949-2
勤務先 〒880 宮崎市大工2丁目23
建設省宮崎工事事務所
TEL(0985)24-8221
21. 田代 幸英（建設）
連絡先 〒880 宮崎市中津瀬85
サーパス中津瀬503号
勤務先 〒884-01宮崎県児湯郡木城町椎木
九州電力（株）小丸川開発事務所
TEL(0983)32-4020 FAX(0983)32-4025

✿ 平成8年度春の叙勲

受賞のお三方に心からお慶び申し上げます。

- ・本部理事 大分 建設 原井 東男氏
勲四等瑞宝賞（地方自治による功労）
- ・佐賀地区代表幹事 建設 向井 治孝氏
勲五等双光旭日章（専門工事業振興功労）
- ・福岡 建設 濡木 久氏
勲五等双光旭日章（建設功労）

✿ 平成8年度会長表彰

次のおふた方は、来る6月19日(水)、
(社)日本技術士会定時総会で表彰されます。
(健保会館、14時30分～)

- ・北九州 機械・経営工学 柴田 秀夫氏
- ・大分 農業 今村 欽一氏

－受付順、敬称略－＜会員ニュースおわり＞

☆お願い！

会員名簿記載内容見直しの依頼について

総務委員長

平成8年度版、会員名簿作成準備をしております。

平成8年5月31日現在の会員各位の記録内容をご通知しますので、検討の上、訂正や追加などがありましたらその事項を朱記して、折り返し事務局宛ご連絡願います。

今年度分には、他の国家資格・経歴等を載せることになるかも知れませんので、記載希望の方はその分もご連絡下さい。平成8年度分は試行期間となり、平成9年度分から全員一斉に記載できるのでは無いかと思います。

◇ 会誌”技術士”最近号の主要目次

☆4月号

・巻頭言

地方活性化の担い手として技術士に期待

／町田 潤一

・私の技術士業務(58)

私の成果品

／鶴巻 有一郎

・ミニ特集＜水産技術＞

らせん魚道の設計と遡上効果

／細野 成一

海水取水方式と計画設計上の留意点

／石村 忠昭

東京湾におけるアサリの生息と

環境との関係

／清水 孝

冷凍魚用グレース剤の開発手法

／中山 正夫

ウニ天然採苗技術

／川村 廣

☆5月号

・巻頭言

東アジア回廊の夢

／星野 進保

☆6月号

・巻頭言

くらしと技術の明日を目指す

／澤内 幸一

★投稿を募る★

技術研究論文・技術士の主張・賛助会員会社の紹介など、技術的なことは勿論会員の受賞などのニュースもお願ひします。積極的な皆さんの投稿をお待ちしております。(20字×10行=200字詰め原稿用紙2～3枚程度－用紙は事務局に－を目安に、支部事務局宛にご送付下さい。)



編集後記



- ・いよいよ7月20日からアトランタでオリンピック開始。『参加することに意義あり』とはいうものの、やっぱりメダルの数が気にかかる。時差はマイナス14時間、夜更かしが増えようというもの。
- ・本号は20ページ、皆さんの熱意が増ページに。郵送料から限度だと事務局長殿。(小)

発行：(社)日本技術士会・九州支部

九州地方技術士センター

〒810 福岡市中央区大名1丁目

12-61 新天ビル402

☎ (092) 771-9534

FAX (092) 731-8274

編集：九州支部・総務委員会